

なかのまちめぐり博覧会2014の実施結果について

標記博覧会の実施結果について、以下のとおり報告する。

1 開催期間

平成26年11月8日（土曜日）～30日（日曜日）

2 実施主体

- ・なかのまちめぐり博覧会実行委員会（区内商業団体、交通事業者、企業、大学等により構成）
- ・中野区

3 実施内容及び参加動員数

	イベント数	参加動員数
まち歩きツアー 地域や商店街、歴史・文化資源の名所巡り 等	11	約300人
体験・見学 電車区見学、古民家でのワークショップ、料理講習会、伝統工芸制作体験 等	11	約7,000人
講座・講演 映像デザインや歴史に関する講演会、はしご車搭乗体験、外国人との交流イベント 等	15	約1,500人
その他イベント 商店街イベント、コスプレ、新人監督映画祭、アニメミュージックダンスイベント 等	48	約72,000人
計	85（※1）	約80,000人（※2）

（※1）昨年比 26件増

（※2）昨年比 約3万人増（観光庁統計調査準拠による個別イベント主催団体からの実績報告を基に集計した推計値）

4 個別イベント主催団体からの評価・意見等

（1）博覧会に参加した評価

普通以上・・・87%

（内訳）

期待以上	良かった	まあまあ	普通	要改善
12%	41%	13%	21%	13%

（2）来年度開催の場合の参加意向

参加したい 90% 今後検討したい 10%

（3）主催団体の主な意見・感想

- ・イベント同士の交流連携を進め、内容の充実や規模拡大などを図る必要がある。
- ・博覧会の周知について、中野駅周辺以外が不足している。しかし、中野区以外の地域からの参加者もあり、昨年度と比し認知度は高まっていると思われる。
- ・パンフレット配布後にすぐに予約で定員が埋まり、昨年度よりも参加者が増えた。
- ・パンフレットに掲載され、他のイベントも知ることができ、（自分の）イベント開催の励みとなった。
- ・パンフレットは、地域ごとのカレンダーが掲載されるなど見やすくなったが、イベントカタログ的であり、地域やイベント同士の回遊性を高める工夫が必要である。
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催に向け外国人客の受入れを高めていく必要がある。

5 参加者アンケート結果

(1) 趣旨・手法等

- ・博覧会の今後の取組みに活かすため、まち歩き、体験・見学、講座・講演、その他イベントの全4ジャンルから、昨年度参加実績等を参考に参加者の年代や属性等を考慮しつつ、個別イベント主催6団体を抽出し、団体協力のもと参加者アンケートを実施した。
- ・予約制で無いものや自由参加型など実質的にアンケート実施が困難なイベントもあり、今回は、一定の参加者の傾向把握に資するサンプルとして活用することとした。
- ・参加者全体の傾向等の把握に係るアンケートの実施や手法等は、今後も実行委員会と検討・協議を重ねていくこととした。

(2) 回答数

778名

(3) 男女比

男性40%、女性57%、未回答3%

(4) 住所構成

住所	中野区	杉並区	練馬区	新宿区	世田谷区	豊島区	その他
割合	62%	7%	6%	5%	4%	3%	13%

(5) 年代構成

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
割合	7%	3%	10%	18%	16%	26%	20%

(6) 今回参加したイベントがなかのまちめぐり博覧会のイベントと知っていましたか？

回答	知っていた	知らなかった	未回答
割合	40%	59%	1%

(7) 本日のイベントは何で知りましたか？

媒体	パンフ	人づて	まるっと中野	区HP	ポスター	その他
割合	32%	24%	21%	13%	6%	4%

(8) 本日これから中野区内の寺社・仏閣、公園、お店に寄る予定ですか？（複数回答）

場所	寄らない	飲食店	小売店	未定	公園	お寺	神社	その他
割合	33%	32.3%	15.7%	15.7%	6.2%	2.4%	2.4%	2.8%

6 今後の方向性

- ・区外からの参加者増や博覧会のさらなる認知度向上に向け、内外での周知PR強化を図っていく。
- ・若年層（10～30代）の参加者増に向け、若年層向けイベントの開催誘導やSNS等を活用した周知を図っていく。
- ・個別イベント主催者交流会の実施など、新規参画や連携・協働を促進する取組を進めていく。
- ・地域やイベント間の回遊性の向上に向け、イベント開催と併せた地域資源の紹介など、パンフレットの内容充実を検討していく。
- ・個別イベントでの外国人受入れに向けた啓発や区内在住・在学等の外国人向けの周知を図っていく。